



十三中だより

令和7年2月3日(月) 2月号

校長 吉田 祐一

みずか から こうどう まえ む どりょく こころ たいせつ
自 考え 行動できる 前 向きに 努力できる 心 を大切に できる

多くの受験生が私立高校に挑みます 健闘を祈る

何度も早い人で昨年の11月に受験がありました。12月、そして1月に入つてからも18日、25日、26日と順次進んでいます。他府県を受験する人の中には今週、本番を迎える人もいます。そして来週の10日には、大阪の私立高校の入試となります。大阪の大半の受験生が朝から会場に向います。

3年生の教室内でも、今までとは違った緊張感が漂つてゐると思ひます。全校集会でも話をしましたが、受験当日に向けた心準備を示します。

一、体調管理…これが一番大切です。十分な睡眠をとり、昼夜逆転している人は元に戻しましょう。

一、勉強内容…わからない問題、難しい問題について、今週は脇に置いておき、うろ覚えや大切なことを再確認しましょう。

一、準備…面接がある人はもちろんですが、全員が服装を整え、筆記用具そして、指定されている受験票など早めに用意しましょう。

一、下調べ…まだ、一度も受験校(地)に行っていない人は、友達が知つてゐるからと任せきりにせず、自分で行って、確認しておきましょう。

健闘を祈ります。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る ですが

誰が言ひだしたかは定かではありませんが、表題の表現は言い古されています。各月の頭文字の読みをとった語呂合わせなのでしょうが、この時期、つくづくそう実感します。今月号の「十三中だより」も先週末、ふとした折に、「そうそう、来週からは2月」ということに気づき、書き始めました。

1月があつという間に過ぎ、1週間のスピードが速く感じてしまひます。時間の速さは均一であることはわかっているのですが…。しかし、こんな時期だからこそ、1日のどこかでゆっくり、落ち着いて物事を考える余裕をあえて作つてみたいものです。